

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院眼科に、白内障手術のために術前外来へ通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学眼科講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

網膜色素変性患者の白内障周術期、術後合併症に関する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 眼科講師 高田 幸尚

3. 研究の目的

網膜色素変性の方は血液-眼関門が脆弱であり、白内障手術の侵襲を契機にフィブリン反応、黄斑浮腫がみられることがある。また、網膜色素変性の方はチン小帯が脆弱な症例が多く、術後に後発白内障が起こりやすいと言われており、白内障手術での術中術後合併症が起こりやすいことも知られている。それらに対して様々な治療方法について報告はあるが、治療効果については様々である。

そこで今回、和歌山県立医科大学附属病院眼科にて白内障手術を行った網膜色素変性の患者で、周術期、術後合併症およびそれに対して行った予防方法や対処方法について詳細な検討を行う。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

和歌山県立医科大学附属病院眼科の患者さんで、2010年1月1日から2019年12月31日までの期間中に、白内障手術を行われた網膜色素変性の方です。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、基本情報、白内障手術所見・周術期内容、術後合併症とそれに対して行った治療内容、に関する情報です。

(3) 方法

白内障手術前のチン小帯脆弱の有無、白内障手術中合併症の有無、術後合併症の有無とそれに対する治療内容と効果について検討する。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺 219

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院眼科 担当医師 高田幸尚
TEL : 0736-22-0066 FAX : 0736-22-2579
E-mail : ytakada@wakayama-med. ac. jp